

てのひら



24号

仙台市
手をつなぐ育成会 通信

●発行日/平成23年7月31日
●発行/社会福祉法人 仙台市手をつなぐ育成会 下元 勝義
●編集/社会福祉法人 共生福祉会 秋の郷福祉工場
●印刷/社会福祉法人 共生福祉会
仙台市太白区鉤取御堂平38
☎0221244017



「願ごと」
大野田はぎの苑
西城 将秀さん

てのひら

題字「てのひら」は仙台市手をつなぐ育成会親の会が障害者本人の人生を支え合う親の手の象徴として名づけられました。「てのひら」は、つつむ・にぎる・ひらく・のせるなど人に対する温もり・優しさ・厳しさ・大きさなどを伝える大切な伝達手段です。



『東日本大震災 ～震災体験談～』



『東日本大震災 ～震災体験談～』

今回震災にあたり会員の皆様に体験談を募集いたしましたところ、たくさんの皆様から貴重な投稿をいただきました。今回の24号・次号25号に渡り、投稿いただいた体験談をてのひらに掲載して参ります。

2011. 03. 11 東日本大震災 体験談

その日、利用者であるわが子は体調不良で自宅に居て、母親の私はたまたま施設に出かけていました。

14時46分、ドンドンと大きな揺れがあり、その後は「ギシャ——ン」、「ギュシャ——ン」、「グシャァ——ン」。

「来るべき時が来たか」。「これが宮城県沖地震なのか」。

なが～いなが～い、ゆっくりとした間隔の、鉄筋の破壊される音を、聞きながら、テーブルの下から、天井の梁を眺めつつ、利用者の仲間を両腕に抱え込み、「大丈夫だよー。おばちゃんが居るからねー」と。

私の周りの利用者の方々も、スムーズにテーブルの下にもぐり込んで居て、日頃の訓練の賜物かと。

そうしながらも、自宅に居る我が子の事が心配で心配で、早く揺れのおさまるのをまだかまだかと、ただひたすら待っていました。

揺れが少し落ち着いてからは、ひび割れた階段を駆け下りて、われた瓦を足でかき分け、やっとの思いで車を走らせました。

多くの人が外に出て立っている所があったり、パチンコ店の外には、座り込んでいる人が居たり、又場所によっては、静かで、ほとんど人がでていない地域があったりと、その地域の被害の大きさの違いを感じながら、頭に本箱が当たっているかもしれない我が子の事をも考えながら、携帯のメールは鳴るし～。

信号の消えた道路を無我夢中で運転し続けました。地震発生後の事でしたので、バイパスもまだ渋滞もおきては無く、いつもよりスイスイ走れた事がとてもラッキーでした。

自宅では、ハンテンを着て、玄関先で立って居る娘がいて、この時は、本当にホッとしたものです。

娘の曰く。「町内会の人に来てくれて、『片づけはまだしないでね。』とってくれたの。優しかった。」と。

見守って頂いている有りがたさに感謝しました。

又、地震の時は、たまたま薬を飲むために 自分の部屋からリビングに来ていて、テーブルの下にもぐり込んだとの事で、これも「施設での避難訓練で、練習していたからだ」と、何度も、話していました。

この度の東日本大震災では、多くの犠牲になられた方々が居る中で……。又施設もその後、立ち入り禁止になっているということを知りに付け、家族一同怪我もなかった我が家は、荷物の散乱はあったとは言え、「とても幸運だった。」と、家族で話し合っています。

こぶし保護者様からの投稿

震災後、こぶしは建物が半壊、当分の間使用できなくなりました。

余震にも過敏になり、家では落ち着かなくなり、私たちみんなで買い出しに出かけました。近くのスーパーに長い行列ができ、娘は長い時間大丈夫だろうか、と思いつつも、大きな声も出さず、あきることなく約3時間並んで買い物をすることが出来ました。

娘のストレス解消と思い、1日置きに買い出しに出かけるようになりました。

電気、水道、ガスが止まり、簡単な食事。水は近所からもらい、トイレは風呂水を使用しました。電気、水道1週間。ガス3週間と不便な毎日でしたが、使えるようになった時は、ありがたさを実感しました。

こぶし保護者様からの投稿



震災を体験して

震災の日は外出してましたが、帰宅すると足の踏み場もないくらいに物が散乱していて驚きました。ライフラインも断たれ、ロウソク生活をして買い出しにも息子と何時間も並び、限定品を手に入れられました。震災から2ヶ月が過ぎましたが、今も余震があり不安な毎日を過ごしています。今でも避難所生活をしている人がいっぱいいますが、早く復興できることを願い、自分にできることを頑張っ

工房けやき保護者様からの投稿

みなさん、じしんはこわかったよ。さいがいこわいです。じしんのとき、つくえかくれました。こうえんにげました。とちのきこうようしゃに、おくってもらいましたよ。じしんは、こわいですね。でんきは、きえました。ていでんこわかったよ。おうち、でんききえたよ。おふろは、とまりましたよ。がすが、とまりました。じしんのとき、からだをふきましたよ。あしゆもやりました。あたまをふきました。ろうじんホームで、おふろにはいったよ。おばあちゃんたち、たいへんですね。おうちで、ラーメンをつくりました。じしんのニュースみましたよ。つなみこわかったです。じしんのとき、もくとうしましたよ。いもうとないているよ。おとうさんもないよ。ははもないよ。じしんは、ねむれません。とちのきはじまってうれしいです。がんばろう、みやぎ。ファイト!ファイト!ファイト!



とちのき利用者様からの投稿

親ゆび通信

Information

10/15(土) ▶ 10/16(日)

第51回
手をつなぐ育成会
東北ブロック大会 (山形県)



11/5(土) ▶ 11/6(日)

第60回
全日本手をつなぐ育成会
全国大会 (東京都)



●● 1日あたり(約41円)のご負担で、充実した保障をお届けいたします。●●

年間
保険料 **15,000円**
(Aプランの場合)

知的障がい、発達障がい、ダウン症の方をお守りする安心の保険。

ぜんちの **あんしん保険**

少額短期健康総合保険(無告知型)

ぜんち共済株式会社のご紹介

詳しい資料をお送りします。
ぜひ現地代理店に
お問い合わせください。

仙台市代理店

株式会社 **エフシーバンク**
TEL022-348-4481 FAX022-348-4483
担当：細屋
〒981-3213 宮城県仙台市泉区南中山 3-11-18

平成12年に誕生した「全国知的障害者共済会(全知共済)」を前身として、全国各地の皆さまに安心をお届けしてまいりました。2008年にぜんち共済株式会社として新たにスタートしてから約3年。すでに約3万人の方がこの保険をご利用されています。(平成23年6月1日現在)

引受保険会社



ぜんち共済株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号
岩本町シティプラザビル5階

*この広告は商品の概要を説明しております。ご契約の際には必ず「パンフレット」「重要事項説明書」をご確認ください。

3月11日当日は、従事者11名、職員3名が勤務していました。全員無事で、パニックや騒ぐ事も無く、意外と冷静な行動をしていました。落ち着いたところで何回かに分け、自宅に送り届けました。いつも通る道なのに、真っ暗で、余震が続く中大変だったようです。道路もかなりの渋滞…

待っている組は、お茶やお菓子を食べてつものんびりとしていました。職員は、地図で家を探すのに大変でした…
公用車で送りきれなかった人を、自分の車で送った職員。道が通れなくなり、家まで送れない人を自宅に泊めて、朝送った職員もいました。みんなの協力の下、全員無事に帰すことが出来ました。

翌日から、職員だけの作業は、寂しく感じました。みなさんが通常に勤務し始めて、騒がしくなることや、トラブルもありますが、元気に仕事が出来ること感謝したいと思いました。



育成会環境事業部支援職員さんからの投稿

あの日、信じられない揺れを体験しました。連絡が取れない為、ご家族の安否確認をしながら利用者さんの送迎を行い、保護者さん不在・自宅にいられない等の理由によりしらかばに戻った利用者さん・利用者さん家族・地域住民・職員と総勢40名(4ヶ月~84歳)の共同生活が8日間に渡り展開されました。

しらかばには発電機があったのでストーブで暖を取り、投光器で明かりを確保しました。食事は当日は非常食で、翌日からは各ご家庭の冷蔵庫の食品等を栄養士さんがバランスよく調理し、隣の交番のおまわりさんも交え、非常時にも関わらず笑い声がでる賑やかな食事でした。

施設という枠を超えた人としての繋がりはこれからの工房しらかばの財産になるでしょう。今後、どのような有事が起きても「社会福祉法人」を名乗る私達が地域社会での位置づけと役割を忘れず、利用者が安心して安全に過ごせる環境を提供していくという確信が職員一人一人の胸中に収められた事でした。

地震のあったその日、当施設ではボランティア感謝会のまっ最中でした。

式も後半に入ったところで、これまでに感じたことのない強い横揺れを感じました。その後約3分間にわたって机の脚にもつかまっていられないような強い揺れの中をともに声をかけあって耐えました。

強い揺れが収まった後、ふと室内を見渡すとほんの数分前とは全く別の部屋かのように物が散乱し、壁からは粉じんがあがっていました。そのような中でも、誰一人怪我をせず無事だったのは、本当に日頃の避難訓練をみなさんが真剣に取り組まれてきた賜物だと思います。その後施設の建物は、市から危険判定を受け立ち入り禁止となりました。この地震を通して、活動の場所・内容・時間など大きく変化せざるを得ない状況となりました。しかし、このような現状となった今でも「こぶし」の活動を、楽しみにして毎日通所して下さる多くの利用者の方がおります。私たち職員も、一日も早くこぶしらしい活動が提供出来るよう、日々努めて参りたいと思います。

しらかば職員さんからの投稿

こぶし支援職員さんからの投稿

新人職員の
皆さんを
ご紹介します!!

1

今年度は、11名の新人職員さんを迎えました。年3回のこのひら各号に渡って皆さんのプロフィールをご紹介します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



名前：吉城 瑠衣子
(よしき るいこ)
所属施設：サポートはぎ
趣味：テニス・旅行



名前：糸井 拓也
(いとい たくや)
所属施設：くるみの木
趣味：読書



名前：佐藤 麗子
(さとう れいこ)
所属施設：仙台ふきのとう
趣味：サッカー観戦、
おいしいものを
食べる事。



名前：寺嶋 恭史
(てらしま たかし)
所属施設：ワーキングギルド花梨
趣味：野球



～震災アンケート～



- ・地震が怖い、今もゆれると怖い
- ・地震で自分がどういう風になるのか不安
- ・家が倒れてしまうかもしれないと思う時がある。(ゆれなくても)
- ・みんなが心配(利用者、職員、家など)

大野田はぎの苑 利用者の方々からの投稿

有って役立つもの

- ・昔ながらのストーブ
- ・電磁調理器 (IHで、普通のコンセントに差し込んで使えるもの。)
- ・カセットコンロ
- ・ポリタンク入りの水の蓄え
- ・サランラップ (食器に敷く)



・床下収納庫
(野菜等がたくさん手に入った時の保存～とてもとても新鮮なまま長持ちしました。)

- ・三月なのに買い置きしていた灯油
- ・常にご飯を冷凍していた事
- ・麺類や乾物類が沢山あった事。
- ・ペットボトル入りのお茶や水がたくさん有った。
(空き容器がその後の水確保に利用できた。)



- ・手回しラジオ
- ・取り外しのきく蛍光灯式の足元灯や、人数分のポケットに入る小さい懐中電灯。



こんなことが大変だった。

- ・車のガソリン。(これからは、半分になれば、給油をする～満タンにしないほうが燃費が良いといわれていたけれど。)

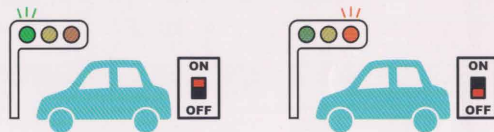


震災で自覚した事。わかった事。

- ・世の中の人(東北の人)が、みんな助け合って、とても親切だと感じた。

燃費は、1割以上良くなった。

- ・5秒以上の信号待ちは、エンジンを切る。(テレビで、報じていて参考にした。)下り坂は、アクセルを踏まないで、我慢をする。



こぶし保護者様からの投稿

生活サポート

知的障害児者・自閉症児者のための 病気やケガの総合補償制度 生活サポート総合補償制度

- ①入院給付 (付添介護、入院時室料差額、入院諸費用、入院一時金)
病気やケガまたはその検査のため入院したとき
- ②賠償責任保険金 (限度1億円)
他人にケガをさせたり、他人のものを壊して法律上の賠償を負ったとき
- ③死亡・後遺障害保険金、入院・通院・手術保険金
ケガをしたとき **天災特約付**
- ④葬祭費用保険金 (弔慰金)
病気で死亡したとき

年会費
17,000円

宮城県知的障害児者生活サポート協会

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-6-2 宮城県障害者福祉センター内

担当代理店 株式会社ジェイアイシー 南東北営業所

〒980-0804 仙台市青葉区大町1-2-1ライオンビル4F TEL022-265-0010 FAX022-264-0081

新理事長あいさつ ～大震災からの復興をめざして～



4月1日より仙台市手をつなぐ育成会の理事長に就任しました、下元勝義です。まず、今回の東日本大震災にて被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

私は、安彦名誉会長と柴田前理事長の意思を継ぎ、粉骨砕身職務を全うしたいと思っております。

さて、我が法人の基本理念は、利用者の安心と安全を基調とした利用者の良質なサービスを提供することです。今回の大震災当日に利用者の方々に怪我をした方が一人もいなかったことについては、本当に胸を撫で下ろしました。しかし、私が施設長を務めております『こぶし』が、入居していた長町庁舎全体の破損により危険判定を受け、庁舎内での活動ができなくなりました。現在は、仙台市八木山市民センターをお借りし運営しておりますが、今後は安定したサービス提供の場を確保するよう全力を挙げております。

今後は、以前にも増して『利用者の安心と安全』のため、今後も最大限の努力をしてみたいと思いますので、会員の皆様の御協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

東日本大震災に関する義援金・救援物資をご支援いただいた方々

当法人宛てに全国各地の皆様から義援金や救援物資の温かいご支援をいただきました、心より感謝申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 様	ぜんち共済株式会社 様
社団法人神戸市手をつなぐ育成会 様	財団法人日本知的障害者福祉協会 様
ちえの友鉛筆株式会社 様	阿部建設株式会社 様
社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会 様	社会福祉法人豊中愛和会 様
公益財団法人ORIX財団 様	社会福祉法人全国社会福祉協議会 様



入会のすすめ

活動費：300円/月

全日本育成会機関誌
「手をつなぐ」

年間購読：3,600円(各月発行)

本人が「自分らしく生きる」ために活動する団体です。

◆親としての悩みや願いに応えます。(会報の発行、研修会の開催各種セミナーの案内等)

◆いろいろな情報の提供、様々な見方を示しあなた自身にあった生き方のヒントを見つけるお手伝いをします。

「親」と「本人」を中心にすえた「役立つ情報・交流誌」

◆福祉の活動をすばやくキャッチ! お伝えします。



「手をつなぐ」▲
2011年4月号